

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	実習	平成30年度	後期	3年次
科目名	小児看護学実習Ⅰ（健康な子どもの発育と看護）					
担当教員	◎溝口幸枝 石橋かず代 橘美保子 井上莉沙					
目的	乳幼児期における健康な子どもの形態・機能、心理・社会的特徴の理解に基づき、成長・発達に応じた日常生活の実際を知り、発達段階に応じた養育に必要な技術と態度を修得する。					
目標	1. 健康な子どもの成長・発達の特徴が理解できる。 2. 健康な子どもの日常生活援助を通して、発達段階に応じた養育について考えることができる。 3. 保育所における安全対策（事故防止と感染予防）の特徴を理解し、発達段階に応じて安全な環境を整えることができる。 4. 保育所と地域・家庭との連携について考えることができる。 5. 小児看護を実践する者として相応しい姿勢で行動することができる					
他科目との関連	小児看護学概論 小児看護学実践論Ⅰ 小児看護学実践論Ⅱ 小児看護学実践論Ⅲ 発達とライフサイクル 家族社会学 身体論Ⅰ 身体論Ⅱ 心理学 芸術とコミュニケーション					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	記録等の評価				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	1. 奈良間美保他 小児看護学概論 小児臨床看護学総論 医学書院 2. 奈良間美保他 小児臨床看護各論 医学書院					
参考資料	○二宮敬子, 今野美紀編集:小児看護学概論, 南江堂 ○今野美紀, 二宮敬子編集:小児看護技術, 南江堂 ○大西文子編集:子どもの保健演習, 中山書店 ○岸井勇雄他監修:子どもの保健-理論と実際-, 同文書院 ○佐藤益子編集:子どもの保健Ⅰ・Ⅱ, みなみ書房					
備考 (受講上注意、事前学習等)	既習した小児関連科目の復習を十分にして実習に臨むこと。発達段階に応じた日常生活への援助項目（食事・排泄・睡眠・衣服の着脱・清潔）、形態・機能・心理・社会的な特徴について事前学習しておく。					